

安全運転

ほっと NEWS
2010年10月号

今月のクイズ

道路交通法でいう車両の灯火義務が発生する「夜間」というのは次のどの時間帯？(答えは裏面)

- ①日没時から日の出時まで
- ②夏季は18時から翌5時まで、
冬季は17時から翌7時まで
- ③17時から翌7時まで



TOKIO MARINE
NICHIDO

ヘッドライトを効果的に活用しよう

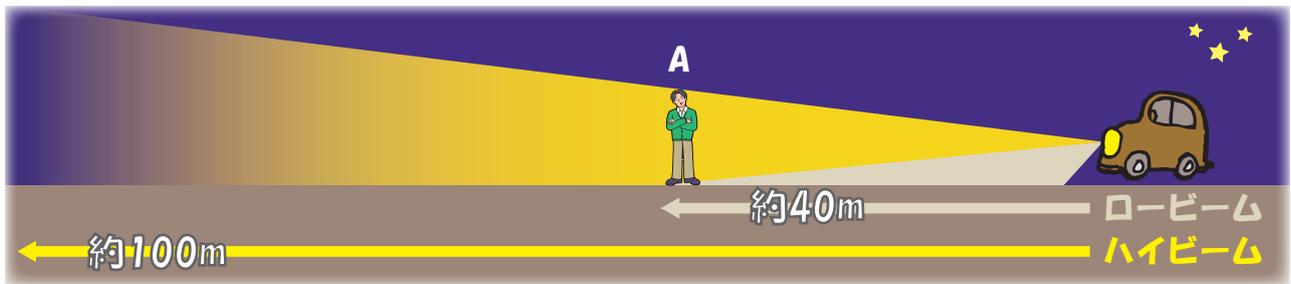


周りが暗い時にヘッドライトを点灯することには、「自車の前方を見やすくすること」と「対向車などに自車の存在を認識してもらうこと」の2つの意味があります。

ヘッドライトの照射範囲を覚えておこう

ヘッドライトの照射範囲は、ハイビーム(ライトが上向き)では約100m、ロービーム(ライトが下向き)では約40mになります。例えば、自車が時速50kmで走行中に障害物(A)を見つけ、急ブレーキを踏んでから停止するまでの距離は、路面が乾燥している状態では約32mとなります。そのため、ロービームにして時速50kmで走行しているときに、障害物に気がつくのが少しでも遅かったり、路面の状態が悪ければ、障害物(A)に衝突する可能性があります。

このことから、周りが暗い時に走行する場合には、ハイビームにすることで、遠くに障害物がないか確認することが重要です。ただし、先行車や対向車がいる場合には、先行車や対向車の運転手がまぶしくならないようにロービームに切り替えて走行しましょう。

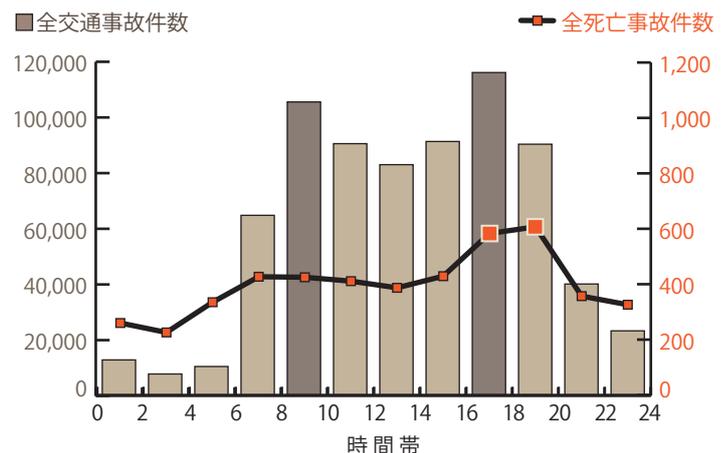


夕暮れ時には早めにヘッドライトを点灯しよう

平成21年の1年間に起こった全交通事故件数を時間帯別にみると、朝夕の通勤・通学の時間帯に多くなっています。また、全死亡事故件数を時間帯別にみると、16時から20時の間に多くなっており、朝夕の通勤・通学による交通量の多さのみならず、夕暮れの薄暗さが交通事故の発生に影響し、重大な事故が多発していると考えられます。

そのため、このような夕暮れ時の事故を防止するために、周りの状況が見えづらくなる夕暮れ時に早めのヘッドライトの点灯を呼びかける「トワイライト・オン運動」を推進している自治体も増えてきています。

平成21年の全交通事故と全死亡事故の時間帯別件数



(財)交通事故総合分析センター「平成21年版交通統計」より引用

ヘッドライトの活用法と注意点

ヘッドライトを安全な運転に役立てるにはどのようにすればよいのでしょうか？
効果的な活用法をみていきましょう。

1. 天候に応じて点灯



日中であっても周りが暗く悪天候の場合、ヘッドライトを点灯して視界を確保すると同時に、対向車に自車の存在を認識してもらいましょう。
高速道路では悪天候の場合、より遠方が確認しやすいように必ずヘッドライトを点灯するようにしましょう。
なお、霧の場合は光が乱反射しますのでロービームにしましょう。

2. 停車時のマナー

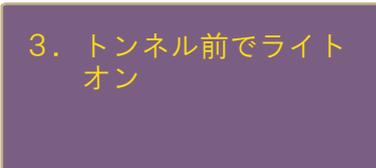


交差点などで停車しているとき、対向車の運転手や歩行者の幻惑防止のためにヘッドライトを消している車を見かけますが、発進する際に点灯し忘れたり、周囲に自車の存在を認識してもらえず、事故に繋がる可能性があります。交差点などでの停車時は、ヘッドライトを消灯しない方が良いでしょう。

踏み切りでは道路が上り坂になることが多いため、ロービームにしても対向車は幻惑されることがあります。踏切での停車時はライトオフ、踏切が開いたらライトオンにしましょう。

※幻惑とは…夜間、対向車のヘッドライトを直接目に受けると、まぶしさのために、一瞬、視力を失った状態になること。

3. トンネル前でライトオン



明るい場所から暗い場所へ急に移ると、目が周囲の光に慣れるまで時間がかかり、先の状況を確認することが難しくなります。対向車に自車の存在を知らせるためにも、トンネルに入る前にライトオン、トンネルを出たらライトオフにしましょう。

4. 幻惑を防ぐ



夜間、走行中に先行車や対向車がいるときにハイビームにしていると、相手の運転手はヘッドライトを直接目に受け、幻惑されることがありますので、先行車や対向車がいる場合にはロービームにしましょう。

5. 蒸発現象に注意



夜間、自車と対向車双方のヘッドライトが重なるセンターライン付近に、もしも歩行者がいた場合、蒸発したように歩行者が見えなくなることがあります。特に雨が降っているときは、視界の悪さや光の反射によってセンターラインの付近が確認しにくくなるので注意しましょう。

6. パッシングライトの使い方



ヘッドライトをパッシングすることには、騒音がある場所などでクラクションが相手に対して届かないときや、夜間見通しの悪いカーブや交差点で注意喚起を促したり、相手車に道を譲るといったように様々な意味を持ちます。しかし、運転手によっては異なる意味として捉えられることがありますので、相手車の行動に十分注意しましょう。

ヘッドライトを効果的に活用し、 安全運転に心がけましょう。

今月のクイズの答え

①日没時から日の出時まで

ご用命・ご相談は…

「やすらぎ」の設計が私たちの使命です。

保険システム 株式会社
INSURANCE SYSTEM CO.,LTD

〒950-0087

新潟市中央区東大通2-4-1 新潟パナソニックビル6F

TEL 025-243-7374 FAX 025-243-0921

E-MAIL yasuragi@hokensystem.co.jp

URL <http://www.hokensystem.co.jp>



東京海上日動火災保険株式会社

企業営業開発部

〒100-8050 東京都千代田区丸の内 1-2-1

TEL 03-5288-6589 FAX 03-5288-6590

URL <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

担当営業課